

## 平成28年度「学力・学習状況」検証事業研究状況報告書（概要）

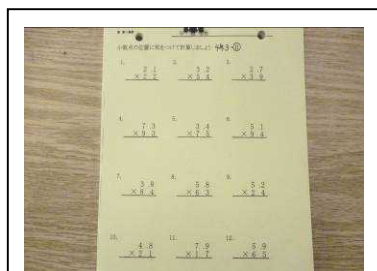
「わかる楽しさ」・「できる喜び」を実感できる児童の育成

児童が自ら主体的に学習に取り組めるようにするために、本校ではまず、日々の授業のさらなる充実を目指していく。具体的には、児童が日々の授業を通して学習内容がわかる「充実感」を感じ、児童自ら自分の力でできた「達成感」が味わえる授業を日々積み重ねていくことが重要であると考え、本研究主題を設定した。

#### 学力向上のための取組

- ① 個に応じた指導の充実（少人数指導の充実）
- ② 毎学期における授業改善プランの活用
- ③ 「ちょこっと研修」を核とした授業改善
- ④ 計算スキルタイム、読書タイム、算数補習を取り入れた教育課程の工夫改善

成果につながっている取組として、教育課程の工夫改善があげられる。本年度より、木曜日を除く毎日10分間の計算スキルタイムを日課表に位置付け、実施した。



本年度の学習アンケートでは、89%の児童が「計算スキルタイムでは一生懸命がんばった」と答えている。児童が自分のペースで計算問題に取り組めるよう、スキルタイムの内容を工夫したことがその要因として考えられる。自分がどこでつまづいているのか、児童自身が認識できると同時に、教師も児童一人一人の理解度を詳細に把握することができる。

スキルタイムプリント また、学習アンケートでは、93%の児童が「少人数指導で以前よりも学習がわかるようになった」と答えている。

単純に学級を二つに分けたけただけではなく、各学級担任と連携を図りながら習熟度別に分けたり、児童の苦手意識をもとにして分けたりと、より効果的な方法を模索してきたことが要因として考えられる。

#### 今後の課題

##### 1 ちょこっと研修

研修の機会を定期的に設けているわけではなく、日々時間が限られた中で、若手教員からのつぶやきやアクションを待つ形であったのが要因として考えられる。今後は、短い時間であっても定期的に毎週木曜日の研修の時間に位置付け、取り組んでいくことによって、授業力アップを図ることが必要であると考えます。

##### 2 家庭学習の充実

家庭学習の啓発について、4月から学校だよりに「家庭学習コーナー」を設けてきた。引き続き保護者への啓発を図るとともに、授業にどんどん保護者を巻き込み、子どもの学びの様子を直接見てもらうことによって、家庭における学習に対する保護者の意識をより一層高めていきたい。家庭学習に関するリーフレット「笹引っ子の家庭学習」の中身をさらに改良し、児童自身が家庭学習に主体的に取り組めるような工夫も図っていきたい。